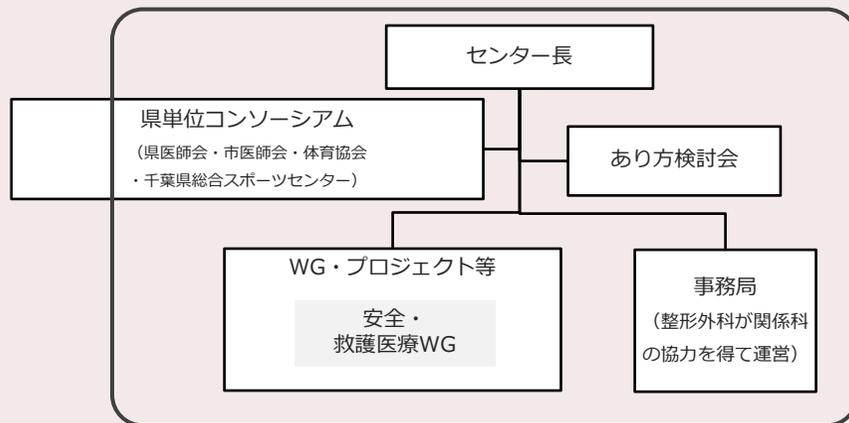


# 千葉大学医学部附属病院 スポーツメディクスセンター 構想

- 背景
  - ・スポーツ庁発足（2015年）、疾病予防の重要性  
⇒ 研究及び実践面での医療スポーツ連携の深化
  - ・オリパラ、ワールド杯を契機に県内スポーツイベントが増加  
⇒スポーツ現場の救護医療の確保が喫緊の課題
- 課題：既存の組織だけでは解決が困難
  - ・複数の診療科の連携
  - ・地域との連携
    - 地域の医療関係者とスポーツ関係者との連携
    - 病院内医療と病院前医療（消防等）との連携
  - ・予防分野及び公衆衛生分野との連携
  - ・研究と実践の両者への関与
  - ・卒後教育及び卒前教育への関与
- 解決策：医療とスポーツを科学的知見・実践の知恵・人材等の観点から連携させる拠点を設立

## 2019年内：1stステージ

- 自治体・スポーツ団体・医師会からの依頼・相談に対応  
※ イベント規模に見合った体制（計画・人・機材・地域連携等）  
について助言・指示・統括
- 医療者関係者向け研修コースの開催
- 人材バンクの維持管理
- 検討会及びWGの開催、県単位コンソーシアムの開催



## 2020年以降：2ndステージ

- 1stステージの事業の継続（ただし、一部はNPO等に移管）
- スポーツに関連・特化した医療提供
- 医療とスポーツに関する研究推進

